

大学院特別講義のご案内

日時： 1月26日(木) 17:00～18:30

場所： 弓倉記念ホール(F棟5階)

講師： 小野 卓史 先生

(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 咬合機能矯正学 教授)

演題： 顎顔面口腔領域における機能障害と早期介入の意義

要旨： 早期治療か晚期治療か、いずれの治療プロトコールが良いか歯科矯正学の分野ではこれまで大いに議論されてきたが、百家争鳴、いまだに決着はついていない。演者がこれまで関わってきた、あるいは現在進行中の、顎顔面口腔領域における機能障害動物モデルを用いた基礎研究からは、早期治療は正常な（あるいは生理的な）顎顔面口腔機能を獲得（あるいは再獲得）するために重要な意義を有すると考えられる。その根拠をお示しすることで、末梢および中枢の両面からみた早期治療の意義を再び考える機会を提供したい。